

令和8年度第1回大田区再犯防止推進会議 議事録

《日時》 令和8年10月21日（水曜日）午後1時30分から3時
《会場》 大田区役所本庁舎5階 特別会議室
《議事》 大田区における再犯者に関わる状況等
大田区再犯防止推進計画の取組み状況について
（令和7年度実績報告）
その他 報告事項
意見交換

《参加委員》

大田区再犯防止推進会議委員

大田区保護司会	会長
大田区保護観察協会	会長
大田区更生保護女性会	会長
大田区自治会連合会	会長
大田区社会福祉協議会	事務局次長（会長代理）
大田区民生委員児童委員協議会	会長
大田区青少年対策地区委員会会長会	会長
大田区立中学校PTA連合協議会	会長
おおた社会福祉士会	会長
おおたTSネット	代表
自立支援センターみんなの家	事務局長

庁内連携部署

総務部	総務課長 人権・男女平等推進課長 経理管財課長 生活安全担当課長
地域未来創造部	青少年・生涯学習担当課長
福祉部	福祉支援担当課長 障害福祉課長 自立支援促進担当課長 障がい者総合サポートセンター所長
健康政策部	生活衛生課長
こども未来部	子育て支援課長 相談調整担当課長
まちづくり推進部	住宅政策担当課長
教育総務部	副参事（教育地域力担当） 学務課長 指導企画担当課長 教育センター所長

進行：

1 委員長選出

委員の互選により、大田区保護司会会長を委員長として選出した。

2 議事要旨

大田区における再犯者に関わる状況等について、令和6年の数値をもとに事務局から説明があった。

次に、大田区再犯防止推進計画における重点課題と取組みについて、令和7年度実績を庁内連携部署の参加管理職から報告があった。また、第二次大田区再犯防止計画の取組について、担当部署の管理職より説明があった。

続いて、大田区保護司会会長より、「大田区更生保護関係団体連絡協議会」について、報告があった。

その後、参加委員と庁内連携部署の参加管理職とで意見交換を行った。

《主な意見》

- ・ 昨年6月から拘禁刑が導入され、更生保護の流れが変わってきていると思い、更生保護に関わる方々の負担が増えるのではないかと危惧している。
- ・ 闇バイト等、犯罪が巧妙かつスピーディーに動いているので、警察や地域の方々、更生保護に関わる方々が連携しながら、早く対策を打っていく必要があり、本会議のような横のつながりのある会議体の役割も重要である。
- ・ 先日、子育て支援課によるアート体験ワークショップに参加したが、このような事業が青少年の健全育成、子育て支援になると思う。
- ・ こども食堂で食事の際のあいさつ「ごちそうさま」等を言わないこどもたちがいる、という話を聞き、道徳教育が足りていないのではないかと思います。こども食堂や児童館で道徳教育となるようなアニメーションを流すのも良いのではないかと思います。
- ・ こどもたちが辛い状況の中で育っていくことに対して、家族以外の大人が関わっていくことが保護的な要因になるという研究もあり、地域でのお祭りなど、既存のこどもに関わる活動を続けることが、犯罪や非行の防止になっている。
- ・ 大人がこどもに必要だと思うものと、こどもが求めているものとがズレていることが多くあると感じており、こどもたちが本当に必要としている支援を、こどもたち自身の声を聞いて、施策や活動に活かせる仕組みがほしいと思う。

- ・地域の中でオーバードーズという言葉聞くようになり、危機感を持っている。
- ・昔の荒れていた頃と比べ、今は本当に静かになったと感じており、地域の方々が非行防止の活動をずっと行ってきた結果だと思う。
- ・大田区更生保護関係団体連絡協議会が地域でつながっていく第一歩として進めていけると良いと思う。
- ・再犯防止は決して、1人あるいは1機関で対応できるものではなく、多角的、重層的な連携によって、支援の輪を広げていくことが不可欠である。

事務局：大田区総務部総務課総務担当